

画は尊重していかなければならないと考えており、私の任期中の支所の廃止はしないと申し上げている。今後については、市民の皆様、新しい議会の意見をいただきながら、地方公共団体は常に組織の合理化に努めなければならぬことを念頭に、もう一回ゼロから検討してみることがあると考えるので、そのことを次期市長に十分引き継ぎたい。

取り組んできた「新市の一体感醸成」の成果と課題は何か



瀬尾 和敬

質問 薩摩川内市誕生以来、一体感醸成を図るべく「ふれあい市民会議」「市政モニター制度」「女性五十人委員会」「パブリックコメント制度」などを創設し、広聴に努めてこられた。歴史・文化・伝統の異なる一市四町四村の合併であり、真の意味の一体感醸成は容易ではないと思われる。これまでの成果と今後の課題をどう考えるか。

答弁 新市まちづくり計画に基づ

き、中心部だけでなく農村の田園地区、海洋の文化ゾーン地区、それぞれ配慮しながら行政の推進を行い、それぞれの地域の文化、特色を生かした一つの薩摩川内市を目指して、地域間交流、春夏秋冬事業等を組み立てながら今日まで行ってきたが、もう一つしっくりしていない感じもある。今後は、次の市長に、次の新しい議会にお願いし、合併に基づく諸懸案事項を一つ一つ解決することにより、市民の皆さん方の心が一つになり、一体感醸成のあるまちになることを希望する。

「雇用・能力開発機構」解体方針報道について



江畑 芳幸

質問 雇用・能力開発機構を解体し、主要事業を廃止との報道がなされているが、川内職業能力開発短期大学校運営のみならず、本市にも大きな影響が出るがどの様な情報か、全国の同校立地自治体と歩調を合せた対策が必要と思うが、その方法は。また、市内で同校以外に影響があるのか。

答弁 川内職業能力開発短期大学校へ連絡したところ、同校の統廃合ではなく、あくまでも学科再編と定員縮小が予定されているとのことであった。また、存続については、全国の同校立地自治体との情報連絡はもとより、連携をとって国に要望していきたい。その他に市内で影響を受けるものは、雇用促進事業団の時代に建設した宿舎が市内に四ヶ所あり、市で買い取ってほしいとの相談もあります。が、建築後年数のたっている建物であり、莫大な維持管理費が必要になるので、慎重に検討しなければならぬと思われる。

市長退任に当たっての思い並びに市の継続すべき事業や夢の継承について



川添 公貴

質問 市長においては、残された課題、残された夢、また更なる大きな夢があるのではないかと思う。薩摩川内市には大きな課題が幾つも残されていると思うが、まちづくりの夢をどのように次の市長に継がれるのか伺いたい。

答弁 行財政改革を含め、少子高齢化、過疎、限界集落など多くの課題を抱えているが、「甌島のトシドン」、「東郷文弥節人形浄瑠璃」などの伝統文化や蘭牟田池等の自然や景観など地域の資源を観光により生かしてもらいたい。できるならば、歴史的にも重要な薩摩国分寺については、その復元を図ってもらいたいと考えている。また、川内港や九州新幹線、南九州西回り自動車道などを地域活性化の起爆剤として生かし、他のまちに負けないまちづくりを行ってほしい。

第三期介護保険事業と第四期計画について



福田 俊一郎

質問 介護給付の適正化を念頭に取り組んでいく必要がある。①薩摩川内市の第一号被保険者の一人あたりの介護費用は県内市町村においてどの位置にあるのか。②介護支援ボランティア制度の導入は考えられないか。③第四期計画の介護保険料基準額を値上げすべきではないが、保険料についての考えは。